

2024年度 つむぎ調布ルーム スタッフアンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。スタッフアンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア (最大スコア5)	改善策・ご意見への対応について	
業務改善について	Q2	所属している事業所の入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するに当たり安全な環境であるか。	3.9	「美観」について、月に一度話し合いを行い、ルーム全体として目標を決めた上で取り組んでいます。その内容を実践し、さらに改善できるよう、ルーム会議で深めてまいります。
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.3	
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.1	
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.6	年間に行うスタッフ勉強会以外に、園長大学® 保育士大学などを活用することや、市で開催している研修の呼びかけや情報共有を行ってまいります。
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		スタッフが計画的に支援以外の業務に取り組むことができるよう、ルーム会議の時間を計画的に利用することや、午前中の時間を業務にあてることのできるよう努めてまいります。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者、訪問先施設(保育所等訪問支援の場合)のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.3	
	Q8	支援の内容は、支援目標に沿ったものになっているか。	4.3	
	Q9	支援の開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.1	
	Q10	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.7	支援について振り返りの時間が充分にとれるよう、時間の管理・一日の業務タスクを考え、時間を確保してまいります。
	Q11	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていないか。	4.1	
	Q12	こども家庭庁の児童発達支援等のガイドラインの趣旨を踏まえながら、具体的な支援を行っているか。	4.1	
	Q13	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		入職後の研修制度の充実は本社にも協力を得て増やすことができるよう努めてまいります。また、子どもたちの作品を大切に扱う中での美観についてもルーム全体で話し合い改善できるよう努めてまいります。
関係機関や保護者様との連携について	Q14	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.0	
	Q15	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.9	園に継続して訪問できる体制を整えます。また報酬改定に伴い、子どもが所属している地域間の連携の重要性を共有し、ルームとしてさらに地域との連携を深めてまいります。
	Q16	就園・就学時は、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.7	今年度、就学支援シートを必要な方全員に提供させていただきます。今年度のみではなく、継続して提供していけるように努めてまいります。
	Q17	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.6	研修情報などを引き続きルームに共有させていただき、スタッフの知識をより深めていけるよう努めてまいります。
	Q18	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.7	コロナ禍で一時的に開催ができず、オンラインとなっておりますが、今年度より対面での開催となっております。管理者が対象の会議が多いため、スタッフの参加が可能ななども市と相談しながら参加を検討してまいります。
	Q19	障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	3.9	戸外に出る活動を増やし、近隣園との関わりを持ちながらの取り組みを行ってまいります。また、つむぎに慣れてきているお子様も多いため、同時間に来ている子同士で関わりを持つことのできる支援ができるよう努めてまいります。
	Q20	保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.9	ペアレントトレーニング、保護者理解などを深めることができるよう、研修会の情報やルームでの勉強会の開催が行えるよう努めてまいります。
	Q21	関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		地域自立支援協議会や社会福祉協議会等地域の関係機関との繋がりをスタッフが持つことができるよう、研修・ボランティアの方との関わりを大切にしながら、さらに深めてまいります。研修・見学につきましては、引き続き、園長大学® 保育士大学の研修内容の選定や地域の学校公開のお知らせを共有してまいります。
保護者様やお子さまへの対応などについて	Q22	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.1	
	Q23	保護者や訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.0	
	Q24	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.3	
	Q25	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		日々支援の中で課題を見つけ、個人の改善のみではなくルームとしての課題と捉えルーム全体で話し合い、様々な考え方を学び続けることができるよう努めてまいります。
満足度について	Q26	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することができるか。	4.4	
	Q27	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		日々お子さまの支援を深く考え、学び続ける姿勢や取り組みを提案していただきありがとうございます。引き続き個人の成長ができる場として、そしてより良いルームとして在り続けることができるよう努めてまいります。

アンケート実施期間：2024年8月15日～9月5日
 回答数： 7

つむぎ調布ルーム
 施設長 山内 優里奈